

## 平成 20 年（2008 年）の磐梯山の火山活動

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

### 2008 年の活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図 2～3）

7月4日に振幅の小さい火山性地震が一時的にやや増加しましたが、その後の地震活動、噴気活動等に変化はありませんでした。

4月と6月に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が観測されましたが、その後の地震活動、噴気活動は低調な状態経過し、地殻変動観測でも特段の変化は認められませんでした。

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 4～6）

裏磐梯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラでは、1月 29 日に山体北側火口壁の噴気の高さが一時的に 200m と高くなりましたが、その他の日では 100m 以下で経過し、噴気活動は低調な状態で推移しました。

10月27～28日に実施した山体北側火口壁噴気地帯及び沼の平の現地調査では、地表面温度分布<sup>1)</sup>、及び噴気、地中温度<sup>2)</sup>に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による直接測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

#### ・地殻変動の状況（図 7～8）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

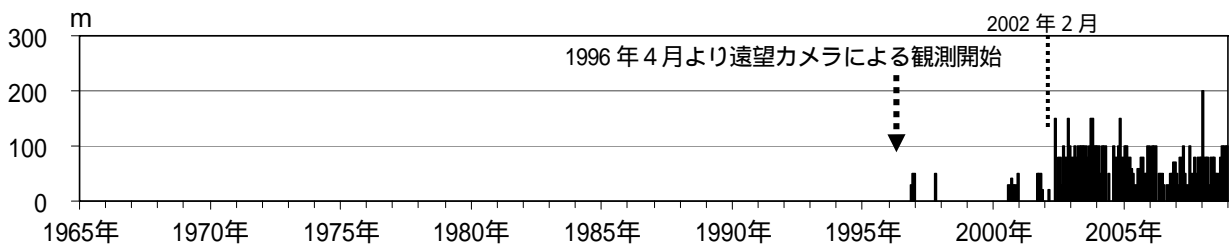


図 1 磐梯山 月最大噴気高 (1996 年 4 月 ~ 2008 年 12 月)

2002 年 2 月以前は定時(09 時, 15 時)及び随時観測による高さです。  
2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

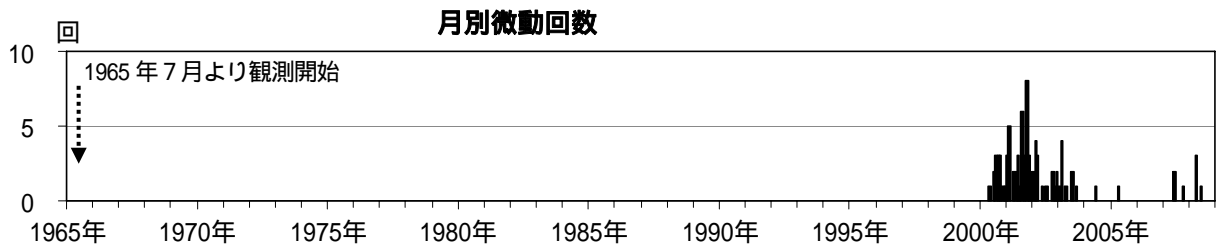
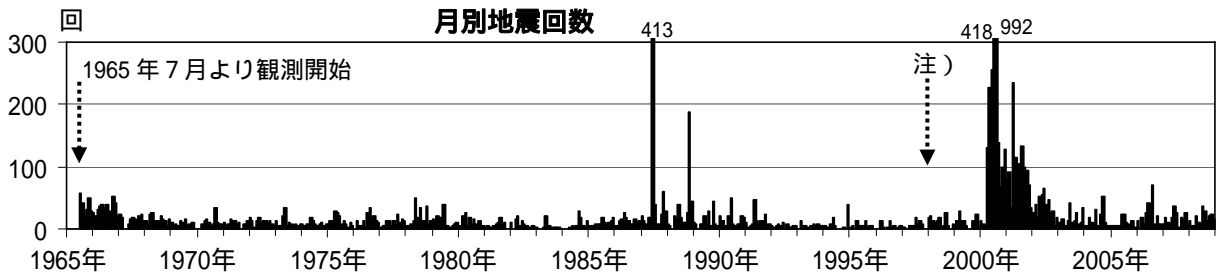


図 2 磐梯山 月別地震回数、月別微動回数(1965 年 7 月 ~ 2008 年 12 月)

注) 1998 年より検測基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。

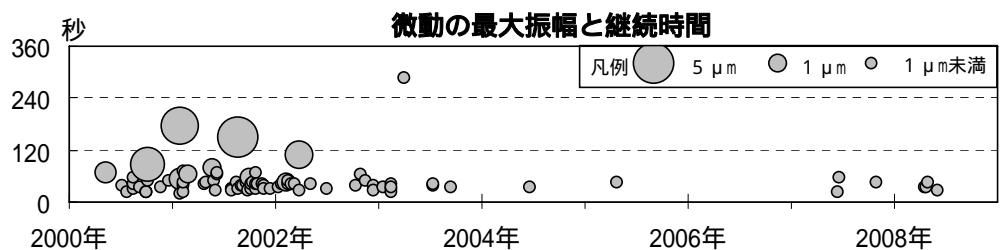
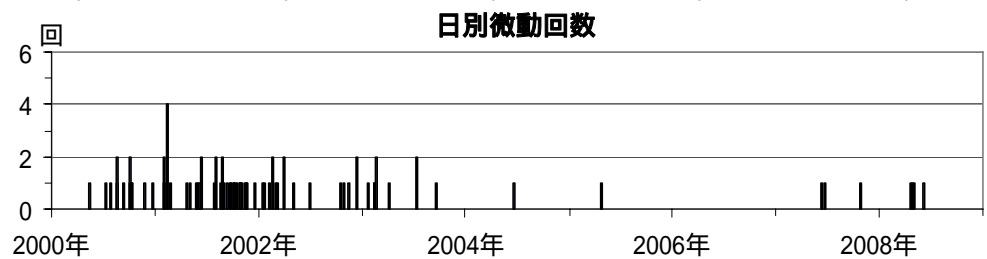
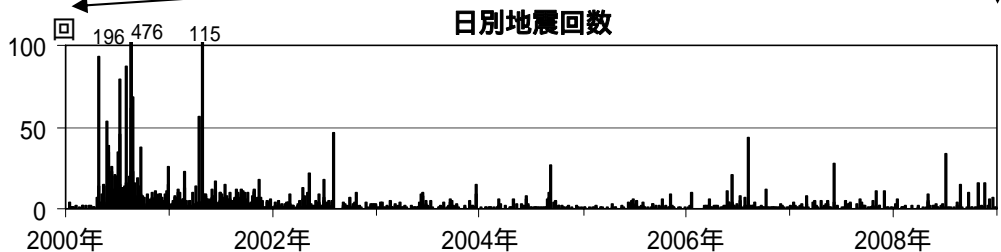


図 3 磐梯山 日別地震回数、日別微動回数、微動の振幅と継続時間  
(2000 年 1 月 ~ 2008 年 12 月)

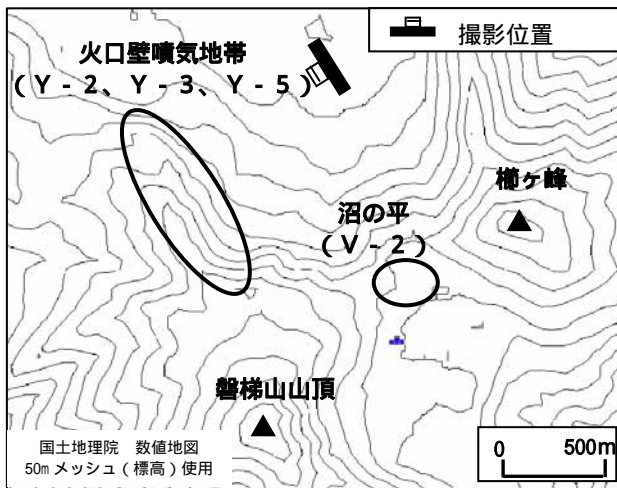


図 4 赤外画像撮影位置

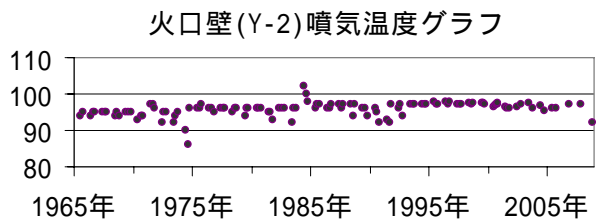
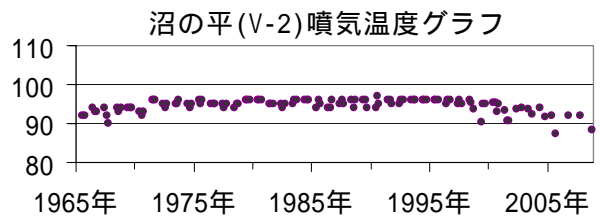
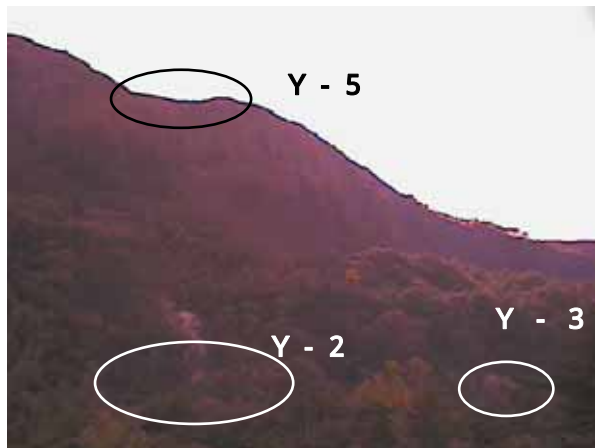
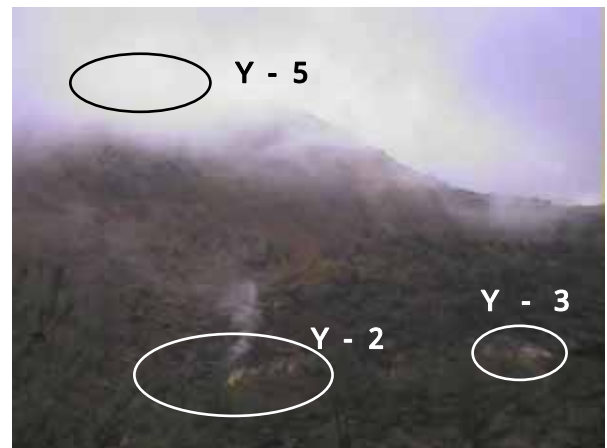


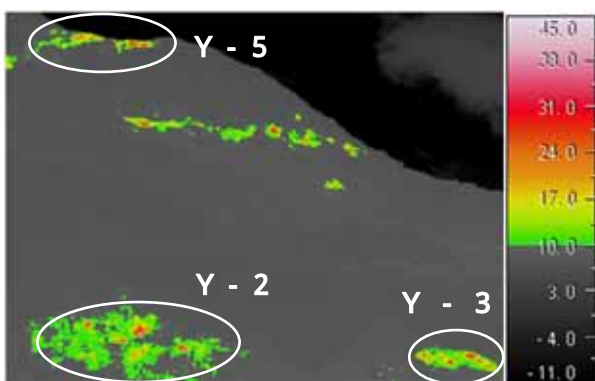
図 5 沼の平 (上: V-2) と火口壁 (下: Y-2) の噴気温度<sup>2)</sup> 変化 (1965 年 7 月 ~ 2008 年 10 月)



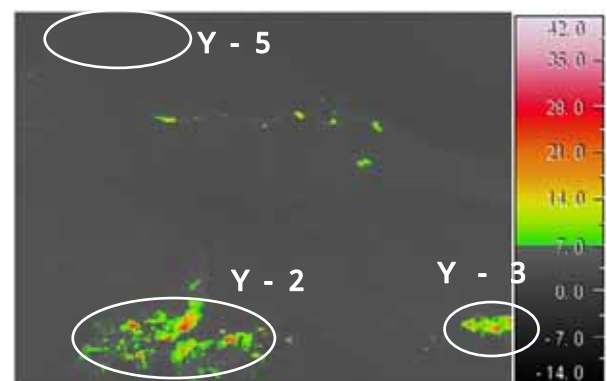
可視画像 (2007 年 10 月 17 日)



可視画像 (2008 年 10 月 28 日)



赤外画像 (2007 年 10 月 17 日 曇り 気温: 15 )



赤外画像 (2008 年 10 月 28 日 曇り 気温: 5 )

図 6 山体北側火口壁噴気地帯 (Y-2、Y-3、Y-5) の可視画像 (上) と赤外画像 (下)  
2008 年は、悪天のため Y-5 の観測ができませんでした。

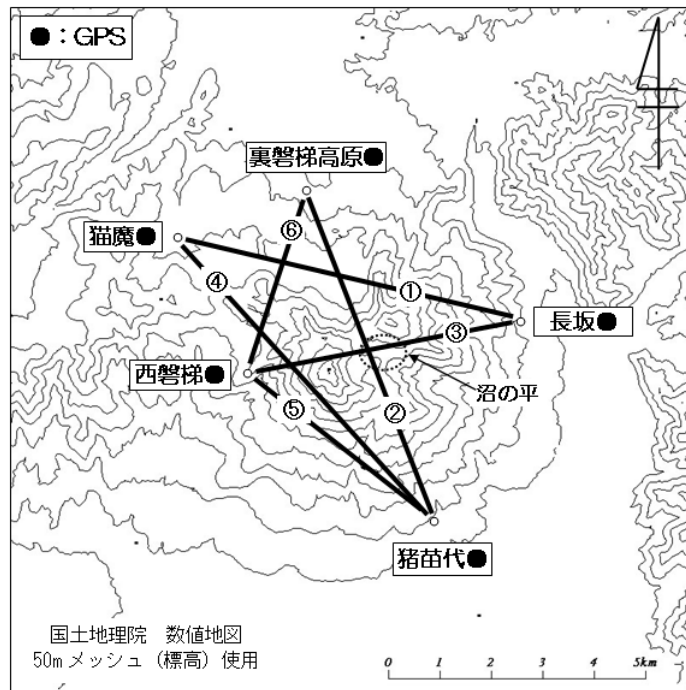


図 7 磐梯山 GPS 観測点配置図

GPS 基線 ~ は図 8 の ~ に対応しています。

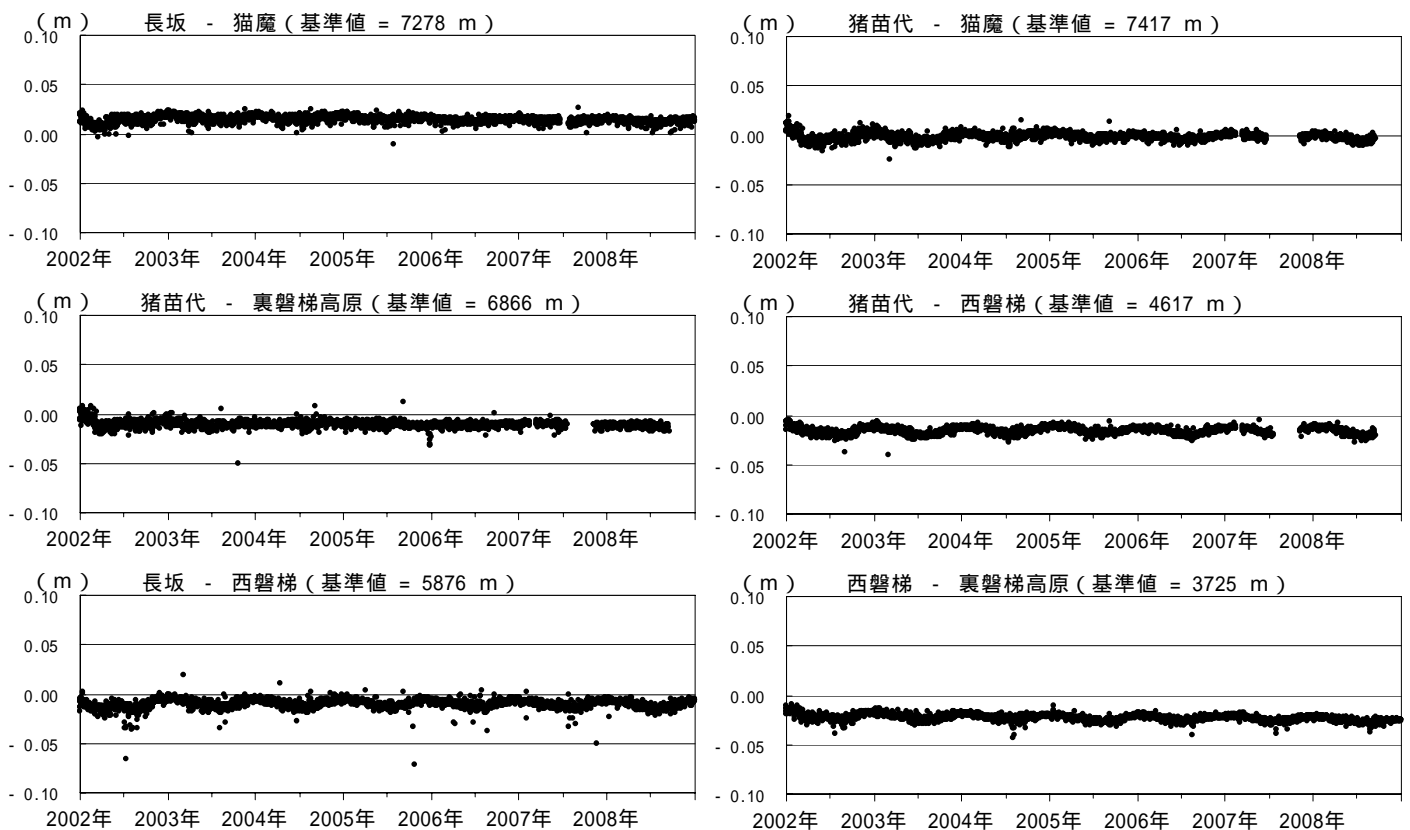


図 8 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月 ~ 2008 年 12 月)

~ は図 7 の GPS 基線 ~ に対応しています。

猪苗代観測点は、2007 年 7 月 20 日から 11 月 8 日まで、及び、2008 年 9 月 16 日以降障害のため欠測しています。

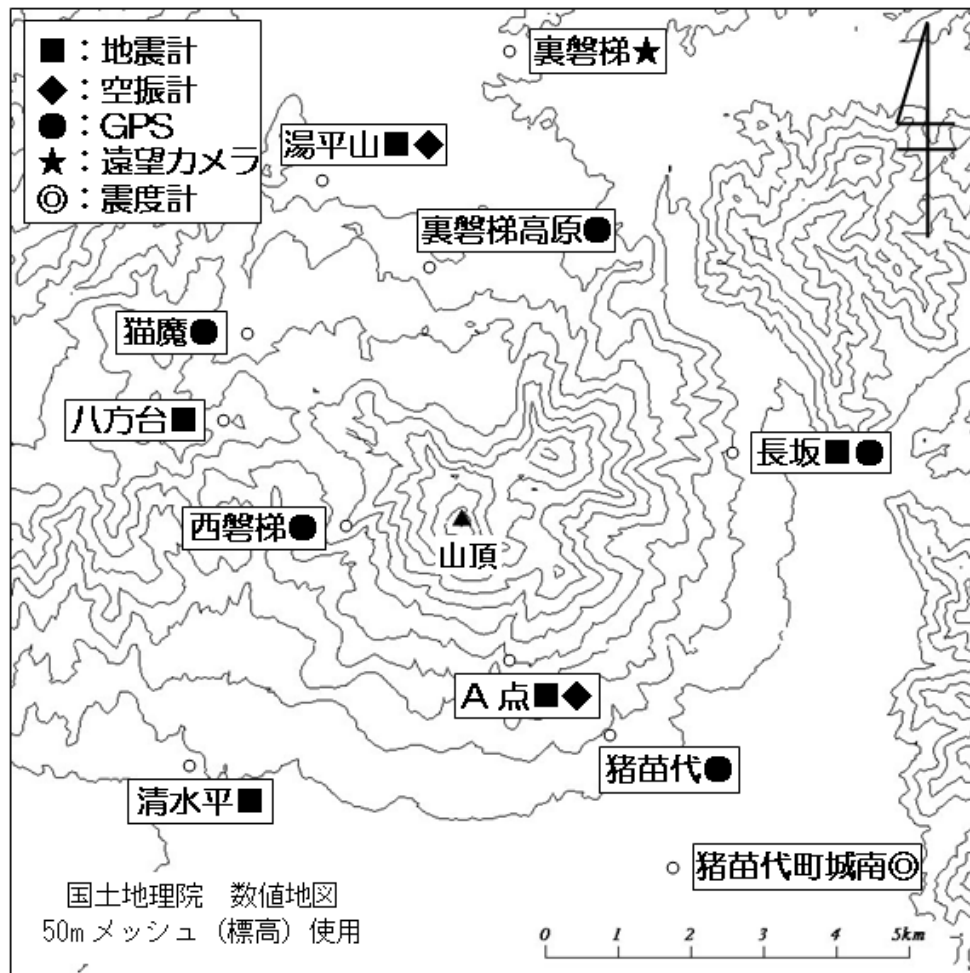


図9 磐梯山 観測点配置図

表1 磐梯山 気象庁の常時観測点一覧

観測種類	地点名	位置			観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)		
地震計	A点	37° 35.04	140° 04.79	1000	1965.4.1	短周期 3成分 2000年11月2日：現在の場所に移設
	長坂	37° 36.84	140° 06.93	650	2005.12.8	短周期 3成分
	清水平	37° 34.78	140° 01.81	690	2000.10.11	短周期 3成分
	八方台	37° 36.78	140° 02.16	1260	2000.11.8	短周期 3成分
	湯平山	37° 38.59	140° 03.09	870	2000.11.9	短周期 3成分
空振計	A点	37° 35.04	140° 04.79	1000	2000.11.2	
	湯平山	37° 38.59	140° 03.09	870	2000.11.9	
GPS	長坂	37° 36.61	140° 07.17	613	2000.9.6	1周波
	裏磐梯高原	37° 37.93	140° 04.03	947	2000.9.8	1周波
	猫魔	37° 37.45	140° 02.35	1070	2000.9.7	1周波
	西磐梯	37° 36.02	140° 03.27	1189	2000.9.7	1周波
	猪苗代	37° 34.47	140° 05.71	697	2000.9.6	1周波
遠望カメラ	裏磐梯	37° 39.60	140° 04.80	810	1996.4.1	